

ワコールホールディングス「統合レポート 2026」を発行

2026 年 9 月 30 日

株式会社ワコールホールディングス

株式会社ワコールホールディングス（本社：京都市、代表取締役社長執行役員：矢島 昌明、以下 ワコール HD）は、株主・投資家をはじめとするすべてのステークホルダーに向けて、財務情報と非財務情報を統合的に報告する「統合レポート 2026」を発行いたしました。



6つの問いから読み解く、ワコールの変革

（株）ワコールホールディングスでは、ステークホルダーの皆さまとのコミュニケーションの一環として、統合レポートを発行しています。本レポートでは、ワコールグループの価値創造の考え方や企業価値向上に向けた取り組みについて、事業・財務・非財務の情報を交えながらお伝えしています。

当社グループは現在、企業価値向上に向けた変革を進めています。本年度の統合レポートでは、投資家をはじめとするステークホルダーの皆さまが、今のワコールに対して抱く関心や疑問を「6つの問い」として整理し、それらに経営陣や事業責任者、社外取締役が答える構成としました。

国内事業の収益性向上、海外事業の成長、資本効率の改善、人材戦略など、企業価値向上に向けた重要テーマについて、それぞれの視点から事業に語ることで、当社グループが目指す変革の方向性と、その実現に向けた取り組みをお伝えします。

- Q1. 今の課題は何か。これから何をを目指すのか
- Q2. 国内事業をどのように変えていくのか
- Q3. 海外事業をどのように広げていくのか
- Q4. 資本効率の向上にどう取り組んでいくのか
- Q5. 社会課題解決と事業成長をどう両立していくのか
- Q6. 戦略を支えるガバナンスをどう機能させているのか

「統合レポート 2026」では、ワコールグループが進める変革について、投資家をはじめとするステークホルダーの皆さまの関心や疑問を「6つの問い」に整理しました。経営陣、事業責任者、社外取締役がそれぞれの問いに答えることで、変革の背景や課題、今後の方向性を分かりやすくお伝えしています。

「今の課題は何か。これから何をめざすのか」「国内事業をどのように変えていくのか」「資本効率の向上にどう取り組んでいくのか」など、企業価値向上に向けた重要テーマについて、それぞれの視点から率直に語ることで、ワコールグループが目指す変革の方向性と、その実現に向けた取り組みを紹介しています。

さらに、構造改革や人間科学研究を起点とする新たな価値創造、人的資本、ガバナンスなど、変革を支える重要テーマを特集しています。経営戦略に加え、その実行を担う組織や従業員の取り組みを紹介することで、ワコールグループの変革の全体像を多面的に描き出しました。

本レポートを、ワコールグループの変革に対する理解を深めていただくとともに、ステークホルダーの皆さまとの建設的な対話につなげるための重要なコミュニケーションツールと位置付けています。今後も、皆さまからいただくご意見を経営や情報開示の充実に活かし、持続的な企業価値の向上に取り組んでまいります。

■統合レポート 2026

日本語版：<https://www.wacoalholdings.jp/ir/library/ar/>

英語版※：<https://www.wacoalholdings.jp/en/ir/library/ar/>

※2026 年 10 月下旬ごろに公開予定

<お問い合わせ先>

株式会社ワコールホールディングス コーポレートコミュニケーション部 IR 担当

E-mail：ir-wmg@wacoal.co.jp